

啓発活動

—未来を担う子どもたちへ



水のかんきょう学習館は、平成23年5月に通水130年の記念事業として「水・農・食・環境」について、楽しく学ぶことをテーマにオープンした。ここでは、主に水のかんきょう楽校や体験プログラムを実施している。

水のかんきょう楽校は、明治用水開削の歴史、水源かん養林のはたらき、水利施設の仕組みなど、当土地改良区の職員が講師となりプログラムに沿って学習することができる。

また、体験プログラムは、各種団体と連携を図りながら「水・農・食・環境」について、自らが体験して学べる内容となっている。その一つに安城市篠目町にある「水の駅21枚田」において、子どもたちが昔ながらの手作業による田植えや稲刈り体験をして、農作業の苦労やお米の大切さを学ぶプログラムを実施している。また、他機関が行う様々なイベントにも参画し、明治用水の啓発活動を行っている。



水のかんきょう楽校 職員が先生となり、子どもたちに水路や歴史を教える



手植えによる田植え



稲刈り・すげ縄作り



収穫したお米で餅つき



体験プログラム・米粉を使ったお菓子づくり

◇小水力発電施設

安城市篠目町内の2か所で小水力発電施設を設置し稼働している。単県事業で設置された篠目童子発電所及び国営矢作川総合第二期土地改良事業で設置された明治用水中井筋発電所は、農業用水の持つ再生可能エネルギーを有効活用した発電施設である。

篠目童子発電所で発電した電力は、発電用制御盤の蓄電池に電気を貯めて、上倉用悪水に架かる明桜橋の兩岸の照明灯に利用される。中井筋発電所は、パイプラインの有効落差(5.86m)を利用して、41kwの発電を行い全量を電気事業者に売却している。

また、昭和11年から昭和34年(伊勢湾台風で被災)まで豊田市広美町にて、4mの落差を利用して、かんがい揚水機用に広畔発電所が稼働していた。



篠目童子発電所(安城市篠目町)

名称	設置年度	発電方式	発電能力	有効落差
篠目童子発電所	平成25年度	上掛け水車発電	0.2KW	1.5m
中井筋発電所	平成29年度	横軸円筒プロペラ水車	41KW	5.81~5.86m



中井筋発電所外観(安城市篠目町)



プロペラ水車発電機(中井筋発電所)



広畔発電所(295KW・240ha かんがい)